

国道202号「春吉橋」の架け替え工事に着手します。

国土交通省福岡国道事務所で管理を行っている春吉橋は、昭和36年に架設されて以来50年余り経過しており、橋の損傷が著しく、感潮区域（河口から約 1.5km）にあるため塩害も進行しているとともに、基礎が木杭であるため、地震に対する十分な耐力が期待できない状況です。

また春吉橋が架かる那珂川は平成21年7月の中国・九州北部豪雨で流域に甚大な浸水被害が発生したところであり、現在、福岡県で河川改修事業が進められています。春吉橋は、橋脚の間隔が短く、川幅も狭くなっているため治水上のネックとなっています。

これらの課題を解消するため、平成25年度に春吉橋架替事業に着手し、これまで測量調査・設計を進めてまいりました。

この度、春吉橋の架け替え工事に着手することになりましたのでお知らせします。はじめに迂回路橋の橋脚工事を行います。

なお、平成27年10月31日（土）に起工式を執り行う予定としておりますので具体的な内容等が決まり次第、改めてお知らせします。



問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 電話：092-681-4731（代表）

技術副所長 やまぐち たかし 山口 隆（内線 204） 工務課長 いとう ひろかず 伊藤 浩和（内線 411）

E-mail: fukkoku@qsr.mlit.go.jp URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

国道202号 春吉橋架替事業の概要(1)

1. 位置図



2. 春吉橋架替事業の施工イメージ図

① 現在

橋梁の耐震性と河川の流下能力の向上が必要



② 春吉橋切り回し

迂回路橋を上流側に設置し交通を切り替え



③ 旧橋撤去・架替時

旧橋を撤去して新橋に架け替え

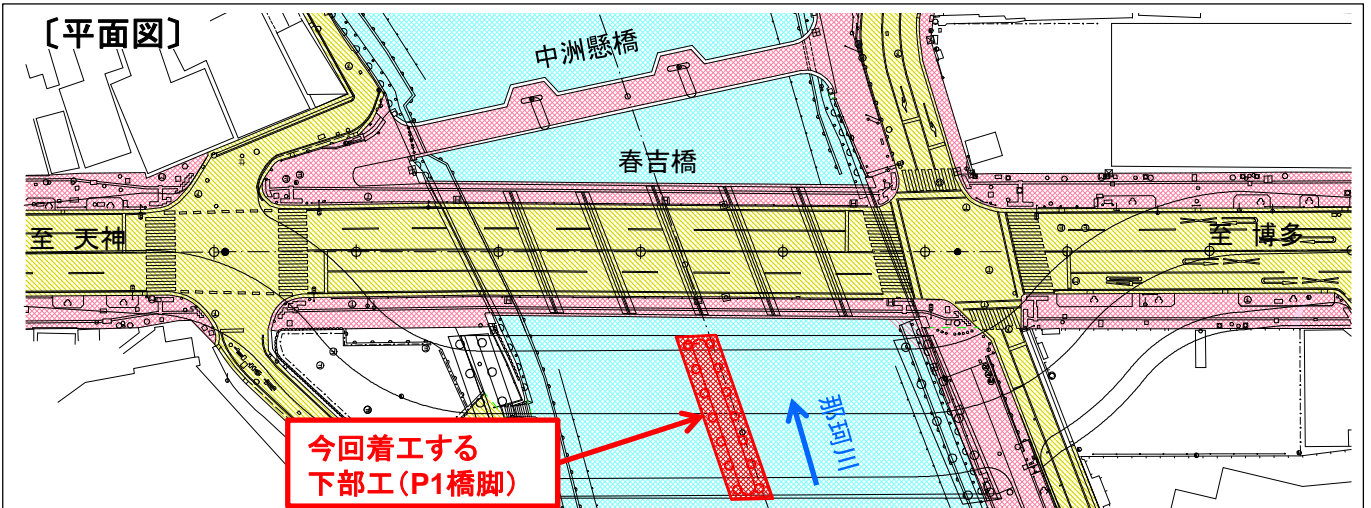


④ 春吉橋完成時

架け替え後、迂回路部は賑わいの空間として利用



〔平面図〕



国道202号 春吉橋架替事業の概要(2)

■ 春吉橋架替事業により、橋梁が木杭から鉄筋コンクリート杭となり地震に対する耐力が向上するとともに、河川改修を行うことで流下能力が向上し治水に対する安全度が向上します。さらに迂回路橋を永久橋とし存置し福岡都心部の賑わい空間を創出します。

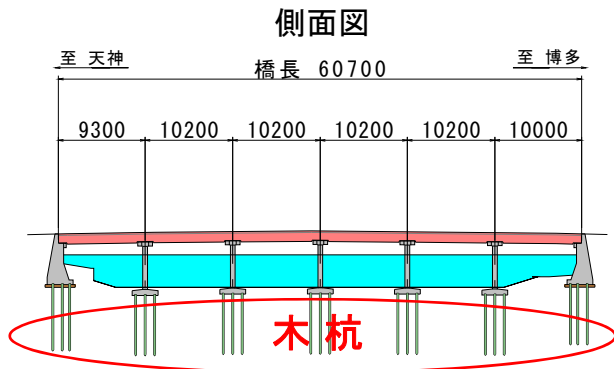
■ 現在の春吉橋 ■



① 橋梁の耐震性向上



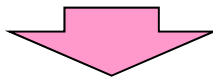
現在の春吉橋は、損傷が著しく塩害も進行しています。更に基礎が木杭であるため地震に対する耐力が期待できませんが、架替により耐震性が向上します。



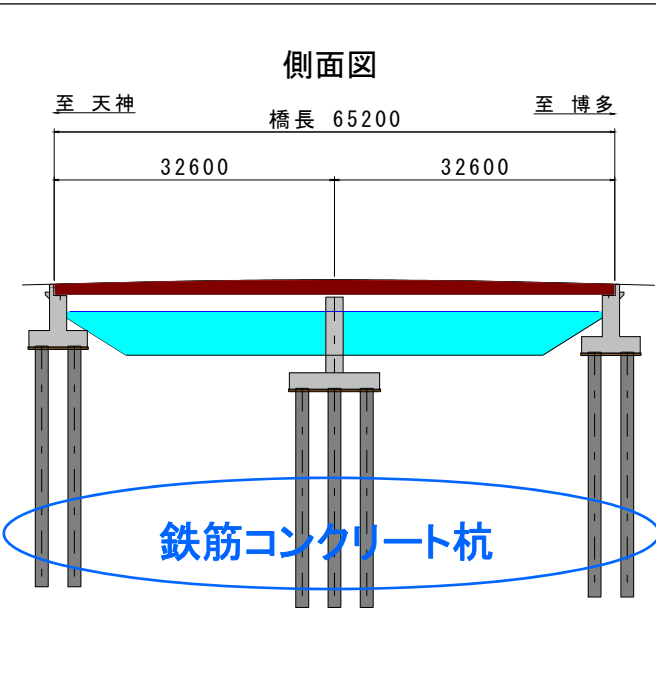
② 河川改修による水害の抑制



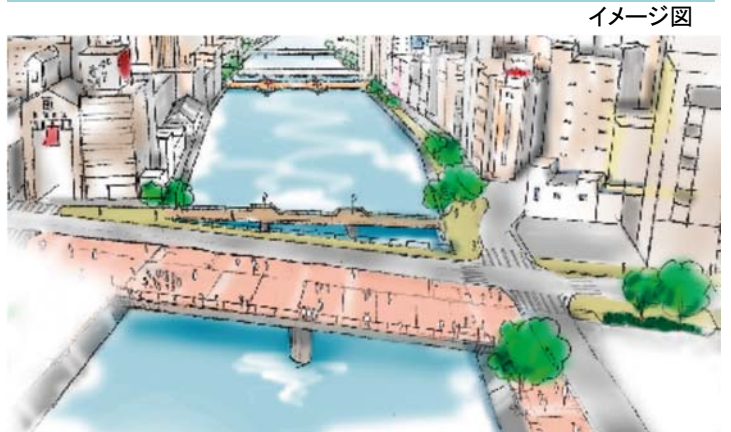
春吉橋架替事業と合わせて河川改修事業を行うことにより、豪雨時の冠水等の水害が抑制されます。



■ 新しい春吉橋 ■



③ 賑わい空間の創出



迂回路橋を永久橋として建設し、春吉橋架替後も存置することで「福岡の顔」となる賑わい空間を創出します。